



2023年7月21日

マツダ、スーパー耐久シリーズ 2023 に ガソリン代替カーボンニュートラル燃料使用の「マツダロードスター」で参戦

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、ENEOS スーパー耐久シリーズ 2023 Supported by BRIDGESTONE の第4戦オートポリス大会からガソリン代替カーボンニュートラル燃料を使用する「MAZDA SPIRIT RACING ROADSTER CNF concept」で参戦すると発表しました。

マツダは、モータースポーツを通じ、クルマを運転することの楽しさをより多くの方に感じていただくために、モータースポーツ活動の活性化を目指します。同時にモータースポーツでカーボンニュートラルに取り組むことで、将来にわたって持続可能な社会のあるべき姿を創造し、時代の変化に適合したモータースポーツ活動の啓発、認知拡大に務めています。

この一環として2021年11月より他の自動車メーカーと共に、カーボンニュートラル燃料を使用するST-Qクラスに「MAZDA SPIRIT RACING」で MAZDA2および MAZDA3 をベース車両に参戦し、次世代バイオディーゼル燃料普及に向けた実証実験に取り組んできました。今回、次世代バイオディーゼル燃料の「MAZDA SPIRIT RACING MAZDA3 Bio concept(55号車)」に加えて、「MAZDA SPIRIT RACING ROADSTER CNF concept」でガソリン代替カーボンニュートラル燃料の普及に向けた実証実験に取り組みます。

マツダはカーボンニュートラルの実現に向け、お客さまにさまざまな選択肢をご提供することが大切であると考え、電動化のみならず、カーボンニュートラル燃料への取り組みを加速してまいります。また、将来に向けて多様な燃料に対応する技術の選択肢を開発するとともに、トルクフルな前輪駆動ディーゼル車両や、軽量な後輪駆動ガソリン車両など幅広い特性を持つ車両を活用し、レースフィールドを使ってマツダらしい「走る歓び」を感じる運動性能の開発も進めてまいります。



MAZDA SPIRIT RACING ROADSTER CNF concept(12号車)

MAZDA SPIRIT RACING ROADSTER CNF concept(12号車)

参戦車両名	MAZDA SPIRIT RACING ROADSTER CNF concept(12号車)
クラス	ST-Q
エンジン	「SKYACTIV-G 2.0」
総排気量(L)	1.997
使用燃料	ガソリン代替カーボンニュートラル燃料
チーム名	MAZDA SPIRIT RACING
監督	木田 努(きだ つとむ)
ドライバー	前田 育男(まえだ いくお)、阪口 良平(さかぐち りょうへい)、 堤 優威(つつみ ゆうい)

スーパー耐久レース ST-Q クラスでは、他の日本の自動車メーカーと競争・協調しながらカーボンニュートラル燃料の開発、認知、普及に取り組んでいます。今回のガソリン代替カーボンニュートラル燃料は既に ST-Q クラスで参戦しているトヨタ自動車株式会社「ORC ROOKIE GR86 CNF concept(1.4L 直列 3 気筒直噴ターボエンジン)」、株式会社 SUBARU「Team SDA Engineering BRZ CNF Concept(2.4L 水平対向 4 気筒自然吸気エンジン)」が使用している同じ燃料で取り組みます。「MAZDA SPIRIT RACING ROADSTER CNF concept」(2.0L 直列 4 気筒自然吸気エンジン)が加わることで、さまざまなエンジンで、同じカーボンニュートラル燃料を使用した実証実験を行ってまいります。

加えてレースで「人とクルマ」を鍛えるという視点に立ち、「MAZDA SPIRIT RACING ROADSTER CNF concept」の車両は全て社内で開発。量産開発に携わるエンジニアが従事し、将来のクルマ造りに活かせる人材や技術の修練を行っています。レース運営も社員と、株式会社広島マツダのサービスメカニックで体制を構築しました。

マツダは、「ひと中心」の思想のもと人を研究し続け、人々の日常や移動することの感動体験を創造し、誰もが生き活きと暮らす「楽しさ」と「生きる喜び」を届けていくことを目指すとともに、2050 年のサプライチェーン全体でのカーボンニュートラル実現に向け取り組んでまいります。

以 上